

令和3年度第11回ヨコハマeアンケート 食品ロスやフードドライブに関するアンケート

実施期間 令和3年10月15日（金）から10月29日（金）

事業所管課 資源循環局 3R推進課

年代別・性別のメンバー数／構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	13 (0.4%)	59 (1.7%)	194 (5.5%)	418 (11.9%)	433 (12.3%)	424 (12.1%)	254 (7.2%)	1 (0.0%)	1,796 (51.2%)
女性	9 (0.3%)	102 (2.9%)	481 (13.7%)	541 (15.4%)	383 (10.9%)	132 (3.8%)	41 (1.2%)	0 (0.0%)	1,689 (48.2%)
不明	1 (0.0%)	3 (0.1%)	3 (0.1%)	6 (0.2%)	4 (0.1%)	4 (0.1%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	22 (0.6%)
計	23 (0.7%)	164 (4.7%)	678 (19.3%)	965 (27.5%)	820 (23.4%)	560 (16.0%)	296 (8.4%)	1 (0.0%)	3,507 (100.0%)

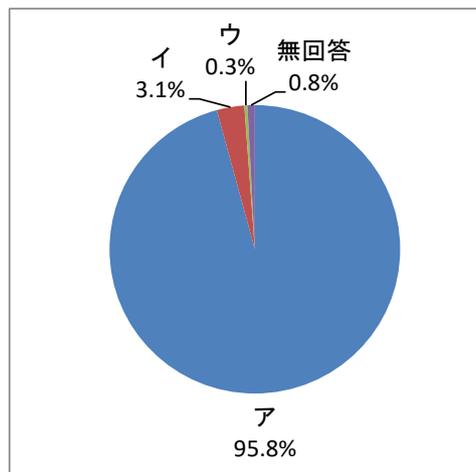
年代別・性別の回答者数／回答率

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	1 (7.7%)	11 (18.6%)	57 (29.4%)	199 (47.6%)	206 (47.6%)	248 (58.5%)	143 (56.3%)	1 (100.0%)	866 (48.2%)
女性	1 (11.1%)	15 (14.7%)	122 (25.4%)	199 (36.8%)	175 (45.7%)	67 (50.8%)	17 (41.5%)	0 (0.0%)	596 (35.3%)
不明	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (50.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (27.3%)
計	2 (8.7%)	26 (15.9%)	179 (26.4%)	401 (41.6%)	382 (46.6%)	317 (56.6%)	160 (54.1%)	1 (100.0%)	1,468 (41.9%)

Q1 あなたは「食品ロス」という言葉を知っていますか。
(単一選択)

n = 1,468

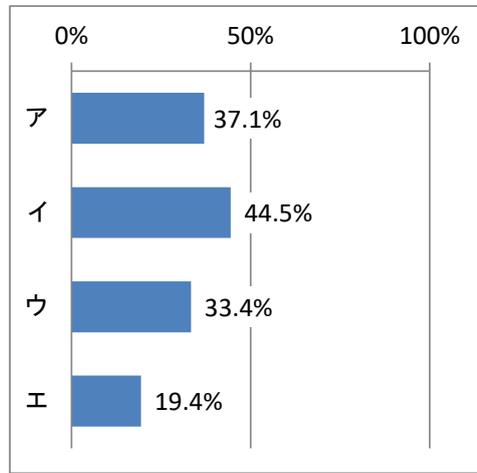
ア 言葉の意味を知っている	95.8%	1,406
イ 聞いたことはあるが言葉の意味までは知らない	3.1%	45
ウ 知らない	0.3%	5
無回答	0.8%	12
	100.0%	1,468



Q2 家庭から出される食品ロスには、「手つかず食品(何も手をつけずに捨てられている食品)」、「食べ残し(食べ残された食品)」、「過剰除去(皮を厚くむき過ぎたりして過剰に捨てられているもの)」の3種類があります。その中であなたがよく出してしまふ食品ロスは何かですか。
(複数選択可)

n = 1,468

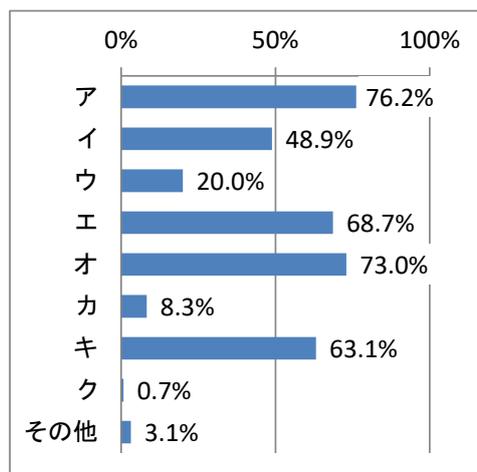
ア	手つかず食品	37.1%	544
イ	食べ残し	44.5%	653
ウ	過剰除去	33.4%	490
エ	食品ロスを出したことはない	19.4%	285



Q3 あなたが「取り組んでいる」又は「これなら取り組める」と思う食品ロス削減の取組をお選びください。
(複数選択可)

n = 1,468

ア	定期的に冷蔵庫の中などをチェックして賞味期限・消費期限(以下「期限」)が迫っている食品や傷みやすい食品がないか確認する	76.2%	1,119
イ	買い物をするときにはリストを作って必要以上に買すぎないようにする	48.9%	718
ウ	スーパーなどでは同じ商品が陳列されていても店で廃棄されないように期限が近いものを購入する	20.0%	294
エ	家庭にある食材を無駄なく調理する	68.7%	1,008
オ	料理を残さず食べきる	73.0%	1,072
カ	期限内ではあるが使う予定のない食品(缶詰など)を必要とするところへ寄付する	8.3%	122
キ	外食の際には食べきれぬ量を注文する	63.1%	927
ク	取り組めることがない	0.7%	11
その他		3.1%	46



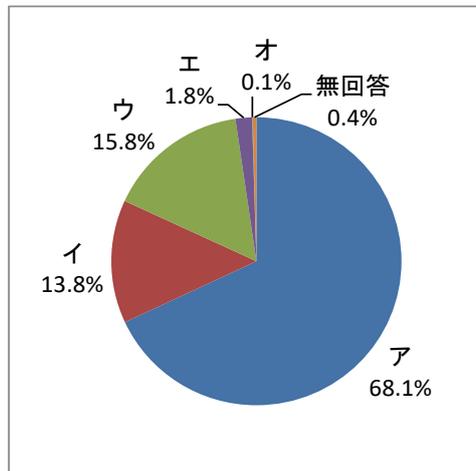
その他(抜粋)

賞味期限切れであっても状態を見て問題なさそうなら喫食する。
非常持ち出し食品を定期的に点検して新しいものと入れ替え食べ切っている。
買い過ぎない。予定を考え、必要な分だけ計画的に買う。

Q4 食品ロスの削減について、あなたの関心や取組状況でもっとも近いものをお選びください。(単一選択)

n = 1,468

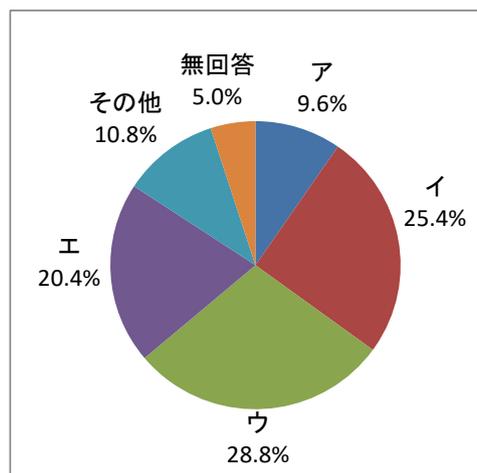
ア	関心があり削減に取り組んでいる (⇒Q6)	68.1%	999
イ	関心はないが削減に取り組んでいる(家族が取り組んでいるので一緒にやっている等など) (⇒Q6)	13.8%	203
ウ	関心はあるがまだ削減には取り組めていない (⇒Q5)	15.8%	232
エ	関心がないので特に削減には取り組んでいない (⇒Q5)	1.8%	27
オ	以前は取り組んでいたがやめてしまった (⇒Q5)	0.1%	1
無回答		0.4%	6
		100.0%	1,468



Q5 Q4でウ、エ又はオとお答えした方に伺います。取り組まない理由でもっとも近いものをお選びください。(単一選択)

n = 260

ア	取り組む必要性を感じない	9.6%	25
イ	取組の方法が分からない	25.4%	66
ウ	生活の中で取り組む時間がない	28.8%	75
エ	手間がかかる	20.4%	53
その他		10.8%	28
無回答		5.0%	13
		100.0%	260



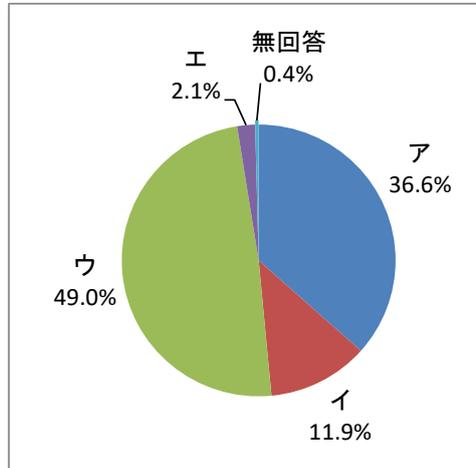
その他(抜粋)

自分がどんなに頑張っても家族が協力してくれない
そもそも具体的なアクションがよくわかっていない
特に目立って食品を廃棄することはしておらず、普段の生活において特にできることはないため

Q6 全員にお聞きします。
 スーパーやコンビニエンスストアなどで、食品を「てまえ」から取ることを促すための掲示物を見たことがありますか。
 (掲示物の例)「すぐに食べるものはてまえから取りましょう」、「てまえどりに御協力ください」など
 (単一選択)

n = 1,468

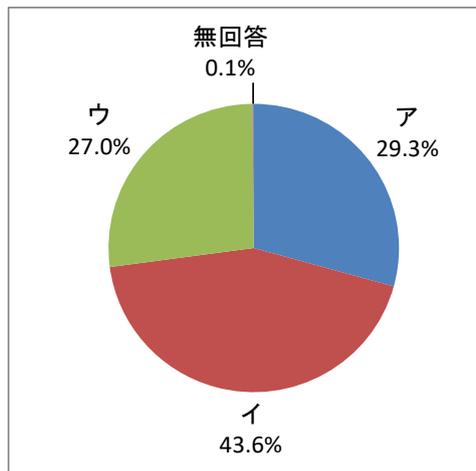
ア	見たことがある	36.6%	537
イ	見たような気がする	11.9%	175
ウ	見たことはない	49.0%	719
エ	わからない	2.1%	31
無回答		0.4%	6
		100.0%	1,468



Q7 「買ってすぐに食べる食品」を購入する際、食品を「てまえ」から取ることを実践していますか。
 (単一選択)

n = 1,468

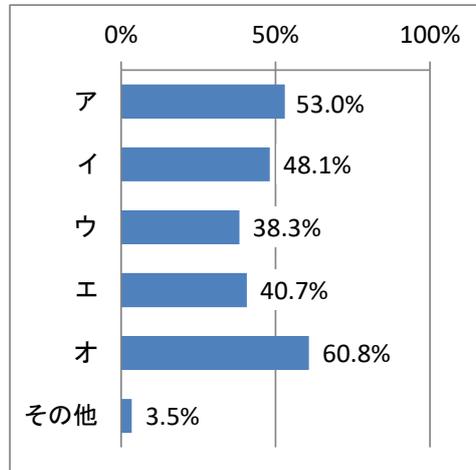
ア	いつも実践している (⇒Q8)	29.3%	430
イ	ときどき実践している (⇒Q8)	43.6%	640
ウ	実践してない (⇒Q9)	27.0%	396
無回答		0.1%	2
		100.0%	1,468



Q8 Q7で「ア いつも実践している」及び「イ とどき実践している」と回答された方にお聞きします。どのような食品を「てまえ」から取りましたか。
(複数選択可)

n = 1,070

ア	牛乳・ヨーグルトなどの乳製品	53.0%	567
イ	豆腐・納豆などの大豆製品	48.1%	515
ウ	肉・魚類・野菜などの生鮮食品	38.3%	410
エ	菓子類	40.7%	435
オ	お弁当・惣菜・おにぎり・パン	60.8%	651
その他		3.5%	37



その他(抜粋)

すぐに使うことがわかっている食品。日をおいたほうが美味しいと感じられる食品。
冷凍食品
ドリンク類
レトルト食品類
値引きされているもの

Q9 Q7で「ウ 実践していない」と回答された方に伺います。食品を「てまえ」から取らなかった理由として「買った後すぐに食べないから」以外の理由があればご記入ください。
(自由意見)

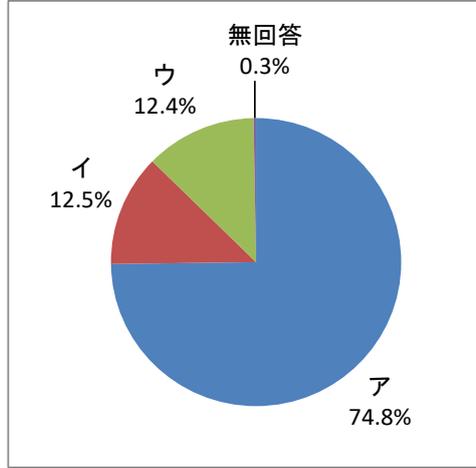
(抜粋)

防災備蓄の観点から、やや多めにストックをするので消費期限は長いものを買う。
感染症への感染防止の観点等からてまえから食品を取ることはしない。てまえに陳列された商品は多くの方が触れているので、感染の危険が増すことも気にかかる。
同じ商品であれば、賞味期限に余裕がある商品の方が、賞味期限が短い商品よりも、新鮮で美味しそうな気がするから。また、同じ値段で買うのに、賞味期限が短いものを買うのは、損をした気分になるから。
すぐ食べるとしても、少しでも新鮮なものを食したいと思うから。
一人では、食べきるのに時間がかかるため、消費期限を過ぎて捨ててしまうよりは新しいものを購入した方が無駄がないと考えるから。
できるだけ新しいものを食べたいから
新型コロナの影響もあり買い物の機会を減らしているため、保存期間を要し、賞味期限が長いものが必要であるから。
残さず食べきるため、消費期間の長いものが必要だから。
てまえからとることの認識がなかった。量や見た目を選んでいた。

Q10 全員にお聞きします。
 お店では、商品棚のてまえに販売期限が近い商品を置いていることが多いため、購入してすぐに食べる食品はてまえから取ることで、期限切れによりお店で廃棄される食品を減らす効果が期待できます。
 このような食品を「てまえから取ること(てまえどり)」を促す取組についてどう思いますか。
 (単一選択)

n = 1,468

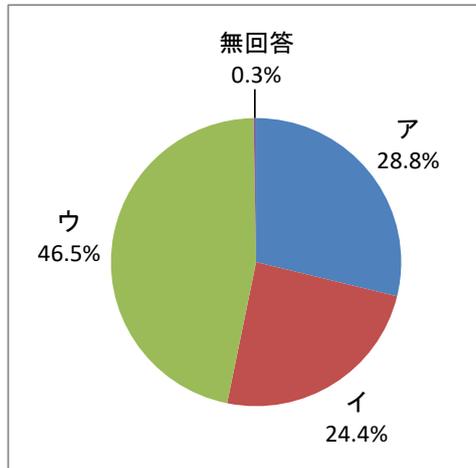
ア	意義があると思う	74.8%	1,098
イ	意義があるとは思わない	12.5%	184
ウ	わからない	12.4%	182
無回答		0.3%	4
		100.0%	1,468



Q11 あなたは「フードドライブ」という取組を知っていますか。
 (単一選択)

n = 1,468

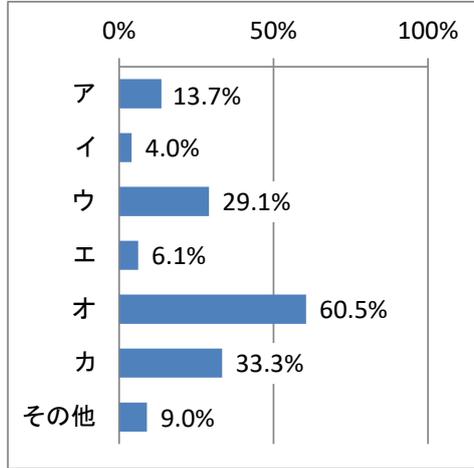
ア	知っている (⇒Q12・Q13)	28.8%	423
イ	聞いたことはあるが詳しい内容までは知らない (⇒Q14)	24.4%	358
ウ	知らない (⇒Q14)	46.5%	683
無回答		0.3%	4
		100.0%	1,468



Q12 Q11で「ア 知っている」と回答された方にお聞きします。
 フードドライブを何で知りましたか。
 (複数選択可)

n = 423

ア	横浜市のホームページ	13.7%	58
イ	横浜市のSNS	4.0%	17
ウ	広報よこはま	29.1%	123
エ	区役所や収集事務所で行った説明会など	6.1%	26
オ	テレビ・新聞・インターネットなどのニュース	60.5%	256
カ	実際に実施しているところを見た	33.3%	141
その他		9.0%	38



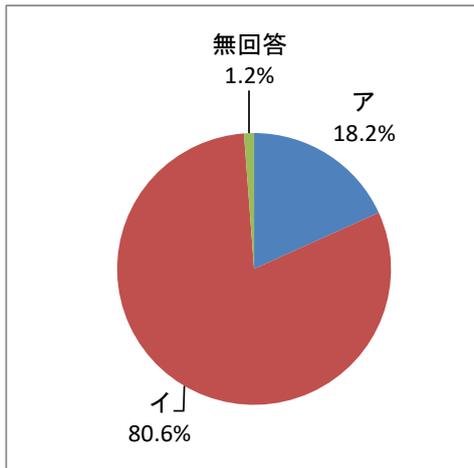
その他(抜粋)

生協の配布物
職場
毎日行くスーパーに「フードドライブ」のコーナーがあったから

Q13 Q11で「ア 知っている」と回答された方にお聞きします。
 フードドライブを通して食品を寄附したことはありますか。
 (単一選択)

n = 423

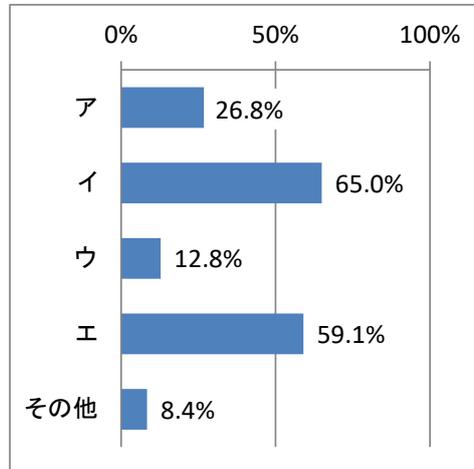
ア	ある	18.2%	77
イ	ない	80.6%	341
無回答		1.2%	5
		28.8%	423



Q14 全員にお聞きします。
 フードドライブとは、各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめて、食べ物を必要とされている方のもとに届ける取組です。
 どのような場所でフードドライブが実施されていたら、食品を持ち寄りやすいと思いますか。
 (複数選択可)

n = 1,468

ア	イベント会場(区民祭りやスポーツ観戦など)	26.8%	393
イ	スーパーなどの小売店舗	65.0%	954
ウ	職場	12.8%	188
エ	公共施設(区役所・地区センター・地域ケアプラザ・スポーツセンターなど)	59.1%	867
その他		8.4%	123



その他(抜粋)

そもそも、使いきれない食品を家庭内に保存していないので、考える必要がない

駅

学校

コンビニエンスストア

(抜粋)

食品の3分の1ルールなど業界の常識から変えていかないと難しいと思う。スーパーの在庫切れや棚が空になることをある程度是とする意識も重要なと思う。(1つの期限の在庫がはけたら次の期限のロットを出すなど)
自宅ですぐに食べなくても大丈夫なように、棚の奥から消費期限や賞味期限の長い商品を取りがちですが、そうすることによりお店での廃棄等が多くなりますので、できるだけ廃棄、回収する物が多くならないように皆が協力できればと思います。
「フードドライブ」という表現は一般的なのでしょうか。ほとんど耳にしたことがありません。
コロナで、食に困っている方がたくさんいる事を知りました。フードシェアの場でもあつという間に在庫がなくなってしまうこともあるそうです。一方で大量に廃棄される食品があるので、なんとかうまく繋いでいけないものかと思えます。行政、企業、個人が意識を高めていくことが求められると思いました。
こういった取り組みは民間企業の協力が不可欠なので、もっと民官一体となって取り組むべきだと思う。
フードドライブで、個人から寄付される食品の安全性をどのように担保するのか不安がある。賞味期限切れについては、企業が食品を作り過ぎないこと、スーパーなど小売店が仕入れ過ぎないことも重要だと思う。
市民が努力している中、イベント開催等で食品ロスを出したら意味がないので、気をつけてほしい。
フードドライブという言葉を知りませんでした。食品を持ち寄って必要な人に配布するというやり方があることは知っていましたが。カタカナ語が多い昨今なので、日本語でうまくいけば良いなあと思いました。また、使う予定のない食品や使いきれない食品を寄付することについて、なぜ使う予定のないもの・使いきれないものを買うのだろうかとちょっと疑問に思いました。
我が家では、冷蔵庫の中が空っぽになってから次の買い物をする。全て食材を使い切る。メニューの組み立て等工夫も必要ですが 残された材料で今日は何を作るか考えること。それが楽しみになっています。
寄付できるものが我が家にある、ということが果たして良いことかどうか考えるきっかけになる。
コロナで給食などが中止になったときに、農家が野菜などを廃棄したニュースを見ました。ところが、食品ロスといえば末端の消費者の食品ロスなどのみに注目されているよう。生産者や流通過程でのロスなどについても検討し、広く周知していただけるとより良くなるのでは、と思いました。
食品ロスは、冷蔵庫の大きさと一度に購入する食品の量が家庭や個人で違うので、中々難しい問題だと感じました。
フードドライブを最寄駅でできると良いと思いましたが、食品を勝手に持っていく人がいると思うので、清潔感が保てるかどうか重要だと思いました。
食品ロスやフードドライブがメインのイベントはほとんどないように思う。コロナが終息してイベントができるようになったらフードドライブ中心のイベントをやってほしい。
並んだ商品を手前から取るという消費者側の努力も必要だが、お店側も、商品を並べる際、まずは期限の古いものだけを並べるとか、仕切りをつけるなどの工夫が必要だと思う。または期限が早いものは10円でよいので値引きシールを貼るなどして、期限の遅い商品との区別をつけた方がよいと思う。
私が住んでいる地域のフードドライブは学校等の公共の敷地で行われているので、駅前とか誰もが日常的に通る場所で行われる方がより多くの人目に止まると思います。また、告知の仕方も回覧板という時代の流れと合わない方法のみで行われているので、もっと情報を拡散できる仕組みがあれば良いと思いました。